

質問回答書

取扱番号：第34号

工事名：連続立体交差事業に伴う給配水管移設工事（令和8年度）1工区

※質問につきましては、いただいた内容をそのまま記載しております。

質疑番号	図面番号	質 疑	回 答
1	明細書9・45・58・59・60・61・62・63・64・65号 代価表8・70号	発生土の処分地が鳥飼上となっていますが鳥飼上には処分地が再資源化施設の許可を有する処分地とストックヤードの許可を有する処分地があります。処分代を計上する考え方として2つの処分地の処分代の単価の安い方で計上し積算する考えでよろしいでしょうか？ご教示ください。	令和7年度建設発生土受入価格及び再生土販売価格（上半期 R07.8.1適用）大阪府都市整備部の調査票に基づき、再資源化施設の許可を有する処分地にて積算しています。
2		共通仮設費、現場管理費算出に際してご教示お願いします。 ①工事種類及び経費工種区分 ②現場環境改善費（率分）計上区分 ③現場環境改善費率（施工地域区分） ④施工地域による補正 ⑤前払金支出割合区分 ⑥契約保証に係る補正	①工事種類及び経費工種区分 開削工事及び小口径推進工事等 ②現場環境改善費（率分）計上区分 計上しない ③現場環境改善費率（施工地域区分） 計上しない ④施工地域による補正 市街地 ⑤前払金支出割合区分 35%を超え40%以下 ⑥契約保証に係る補正 金銭的保証を必要とする場合

3	特記仕様書 第2号代価表 第83号代価表	<p>特記仕様書4貢 8.4週8休工事について (3) 補正方法:4週8休以上（月単位の週休2日）とする。とあります が経費年度は何年を採用して週休2日補正是月単位の週休2日を採用して積算されましたか。また第2号代価表「インターロッキングブロック撤去（再設置）撤去のみ（とりこわし）撤去のみ 100m2未満 制約無 夜間無 週休2日補正:4週8休以上」・第83号代価表「インターロッキングブロック設置 直線配置・ブロック厚8cm 標準品 再生砂30mm 100m2未満 制約無 夜間無 週休2日補正:4週8休以上」は週休2日補正が4週8休以上となっておりますが、これは市場単価にいくらの補正係数で補正されているのでしょうか。ご教授ください</p>	<p>・経費年度は令和7年度を採用し、週休2日補正は月単位の週休2日を採用して積算しています。</p> <p>・インターロッキングブロック設置に関する市場単価の補正として「4週8休以上」の補正係数1.02を採用し、積算積算しています。インターロッキングブロック撤去に関する市場単価の補正として「4週8休以上」の補正係数1.05を採用し、積算しています。</p>
4	第3号代価表	<p>第3号代価表「インターロッキング処分工 ダンプ4t BH0.28m3 14.7km インターロッキング 良好 DID有」を積算する際に「土質区分」は何と想定して積算されましたか。ご教示ください。</p>	<p>土質区分はCo塊（無筋）を想定して積算しています。</p>
5	第3号代価表	<p>第3号代価表「インターロッキング処分工 ダンプ4t BH0.28m3 14.7km インターロッキング 良好 DID有」内にある「インターロッキング処分」は備考欄に「市見積り」とありますがこれは経費計算に影響を及ぼす処分費として積算されましたか。それとも経費計算に影響がない（通常の諸経費対象）として積算されましたか。ご教示ください。</p>	<p>間接工事費の対象とする経費計算にて積算しています。</p>

6	第55号明細書	<p>第55号明細書内にある「鉄スクラップ故鉄B」は二誌高値の単価を採用し、その単価は諸経費対象外・マイナス計上であり単価と数量を掛け合わせた金額は「マイナス」でしょうか。ご教授ください。</p>	<p>経費対象外です。単価は記載いただいた内容の通りです。</p>
7		<p>本工事の建設発生土及び再生土販売価格・建設廃棄物等受入価格・建設廃棄物（廃路盤材）受入価格はそれぞれ何年何月（何半期）を採用されていますか。ご教授ください。</p>	<p>建設発生土及び再生土販売価格は令和7年度建設発生土受入価格及び再生土販売価格（上半期R07.8.1適用）大阪府都市整備部の調査票を参考に積算しています。</p> <p>建設廃棄物等受入価格は令和7年度建設廃棄物等受入価格（上半期 R07.8.1適用）大阪府都市整備部の調査票を参考に積算しています。</p> <p>建設廃棄物（廃路盤材）受入価格は令和7年度建設廃棄物（廃路盤材）受入価格（R7.4.1適用）大阪府都市整備部の調査票を参考に積算しています。</p>